

令和6年度 選挙管理委員会事務局 運営方針

『選挙の確実な執行と積極的な投票参加の推進』

I 基本目標

～若年層や子育て世代をはじめすべての世代の意思が市政に届くよう「公正かつ円滑な選挙の執行管理」及び将来にわたる「持続可能な選挙執行に向けた調査・研究」を行うとともに、誰もが「投票しやすい環境づくり」と積極的な投票参加を促すための「効果的な啓発事業」を推進します～

II 目標達成に向けた施策

1 公正かつ円滑な選挙の執行管理

- 衆議院解散総選挙など急施を要する選挙等について公正かつ円滑に対応できる体制の構築
- 令和7年執行予定の横浜市長選挙・参議院選挙の公正かつ円滑な執行に向けた着実な準備

2 持続可能な選挙執行に向けた調査・研究の推進

- 持続可能な投票所運営に向けた検討
- 共通投票所導入に向けた検討
- 開票事務の効率化・迅速化に向けた取組
- デジタル技術・データの活用による業務見直し

3 投票しやすい環境づくり

- 期日前投票所等の利便性向上の推進
- 障害のある方等「誰もが投票しやすい投票所」への取組の推進
- 投票所への移動支援の推進
- 選挙人名簿標準化に向けた取組の推進

4 効果的な啓発事業

- 若年層啓発と主権者教育の推進
- 子育て世代を含む幅広い世代への啓発
- 「GREEN×EXPO 2027」の機運醸成と連動した啓発の実施
- 地域で活動する明推協委員等との対話の充実

III 目標達成に向けた組織運営

≪“チーム選挙”の総合力アップ≫

選挙の確実な執行のため、基本を大切に、区・市選管職員のスキルアップを図り、組織力の向上に取り組みます。

区選管、関係機関等との連携・協働

公正・円滑な選挙執行や投票参加の推進には、区選管・明推協との連携、自治会町内会等との協働が不可欠です。そのため、投票所運営における持続可能な体制について具体的な調整や選挙業務の見直し等の推進を区選管とともに実施します。また、あらゆる機会を通じてリスクの共有を図り、ミス防止に努めます。

目標・情報の共有とチーム力の向上、能力開発と人材育成の推進

実務的な知識・ノウハウを共有・継承するための研修、各区への出張相談を実施するなど、全ての区・市選管職員が意欲と能力を最大限発揮し、選挙事務のスキルアップを図るとともに、国や他都市の動向を踏まえ、状況の変化にも対応できるチーム力の向上に努めます。

市民の信頼に応える適正な事務執行、データ活用により一層の推進

基本を大切に、選挙に関連した法令遵守が徹底されるよう、引き続き取り組みます。

また、横浜市内部統制基本方針やDX戦略に基づき適切に事務を執行するとともに、新たな組織である調査課を中心に、データに基づいた業務改善及び施策立案を推進していきます。

ワークライフバランス、働き方改革の推進と職場づくり

計画的、効率的な業務執行により、超過勤務の縮減を図るとともに、仕事と家庭生活の両立が図られるよう、より一層ワークライフバランスを推進します。

また、ペーパーレスや会議効率化等、働き方改革の取組を引き続き推進します。